

モニタリング結果報告書

施設 保土ヶ谷公園
指定管理者 公益財団法人神奈川県公園協会
施設所管課（事務所名） 横浜川崎治水事務所

（平成 23 年度 下半期）

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

今期の利用者数は、天候不順に加え施設修繕工事による休館等の影響もあり減少した月もあったが、利用促進事業を積極的に実施したこともあり、前年度を若干上回った。また、簡易な修繕等を直営で行ったことなど努力により支出を押さえることができたこと、苦情要望等に対する対応状況についても適切に行っていることからB判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月10日	11月30日	○	○	×	なし	
11月	12月12日	1月6日	○	○	×	なし	
12月	1月6日	2月3日	○	○	×	なし	
1月	2月10日	3月1日	○	○	×	なし	
2月	3月12日	3月22日	○	○	×	なし	
3月	4月10日	4月24日	○	○	×	なし	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

（指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。）

<提案内容の概要>

公園再整備が進められていることから整備方針や進行状況に沿い、指定管理者として新たな利用案内や、安全・安心の利用者対応の取組みを推進いたします。

また、総合的に掲げた管理運営方針「スポーツと健康、みどりと人のふれあいづくり」をより具体的に、これまでの取り組みを踏まえ、一層の県民サービスの向上を図ります。

○スポーツとのふれあい、健康づくりの発信

- ・誰もが気軽にスポーツとふれあい、健康づくりに取り組める環境をつくります。

○みどりを守り、育て、活かした公園の魅力づくり

- ・みどりの特性を活かして、公園の魅力を創り出します。

○県民に親しまれ、交流の場となる公園づくり

- ・公園利用のコミュニケーションの促進に努めます。

<実施状況>

3月11日の震災の影響で上半期では節電対策も各所で行ってきましたが、10月になり硬式野球場でのナイターが通常再開する等、イベントも含め自粛ムードから“通常”モードに切り替えた運営を心掛けました。利用促進では「H23年度イベント実施計画」記載通り実施いたしましたが、特に「ほどがや区民まつり」「プレイパーク」「朝市」「桜丘高校の社会貢献活動」「岩崎中学の職業体験」「星川小のチューリップ球根の植え込み」等の地域と協働で実施したイベントは毎年あるいは毎月実施できる形となってきました。これは公園のみどりの環境を活かした場所で地域の人々が様々な形で参画し、地域と保土ヶ谷公園が安定した関係が構築されてきたことが大きく、管理運営方針に掲げた広く県民に親しまれる公園づくりが具現化してきたと思われま

<提案内容の概要>

- ・スポーツとふれあい、健康づくりの発信
- ・みどりを守り、育て、活かした公園の魅力づくり
- ・県民に親しまれ、交流の場となる公園づくり

<実施状況>

- ・サッカー場での「芝生ふれあいサッカー教室」「ふれあい芝生体験」「芝生いきいきヨガ教室」、ラグビー場では「ふれあい人工芝体験」などスポーツを通じ、健康づくりと緑に触れ合う機会の提供。
- ・緑の普及啓発のため「アマチュア芝生管理教室」や「園芸療法入門講座」を開催。
- ・公園管理事務所の会議室（2階の元所長室と元工務課の事務室を22年度末に改修）は初音ヶ丘自治会や文化サークル、ラグビー協会等、運動施設を利用する団体等9団体が登録し、ご利用いただいている。

<提案内容の概要(今後実施予定のもの)>

- ・スポーツとふれあい、健康づくりの発信
- ・みどりを守り、育て、活かした公園の魅力づくり
- ・県民に親しまれ、交流の場となる公園づくり

<実施状況(今後実施予定のもの)>

- ・「H24年度のイベント実施計画書」を実施していきませんが、新たに実施する事業として「ネーミングライツ事業者との協働」「公園ギャラリーの継続活性化」に重点を置き、取り組みます。
- ・(H24年度には神奈川新聞社との共同主催による、中学生野球教室を企画、実施予定)
- ・公園ギャラリーは企画展示の継続実施を進め、交流の場としても活性化を図る。

(地元作家やサークルの発表の場や無名アーティストの発表の機会提供等、見学者や公園利用者とのコミュニケーションの場として継続した運営を務める。)

4 収支状況 (単位：千円) 注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	289,634 (250,834)	185,734 (153,334)	46,900 (41,000)	57,000 (56,500)	289,634 (250,834)	0 (0)
下半期 予算額	116,407	76,207	17,000	23,200	116,407	0
10月	22,816	12,637	4,411	5,767	20,414	2,401
11月	15,007	6,937	3,318	4,752	13,995	1,012
12月	27,035	21,571	2,607	2,857	26,055	980
1月	14,370	9,859	2,058	2,453	16,348	△1,977
2月	16,682	12,038	2,056	2,588	18,296	△1,613
3月	20,425	13,165	3,667	3,593	32,790	△12,364
今年度 半期計	116,338	76,207	18,119	22,012	127,900	△11,561
前年度 同期計	104,566	65,616	17,141	21,809	117,853	△13,287

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

- ① 該当なし
 ② 該当なし
 ③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	1,812 千円	プール管理棟入口改修工（867 千円） 硬式野球場ポンプ補修工（945 千円）
下半期	976 千円	照明灯改修工（976 千円）
総額	2,788 千円	

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

→該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	114,171人	103,685人	10.1%
11月	39,816人	44,324人	△10.2%
12月	29,873人	34,275人	△12.8%
1月	23,015人	24,080人	△4.4%
2月	32,891人	36,845人	△10.7%
3月	34,279人	26,140人	31.1%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	人	432,120人	339,291人	%	27.4%
今年度下半期計	人	274,045人	269,349人	%	1.7%

利用状況に関する意見等

①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）
 ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
 なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①、② 該当なし

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
下半期報告						
合計	2 (0)	2 (0)	1 (0)	4 (0)	4 (0)	13 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・アスチック広場遊具の地面は、遊具から転落した場合危険との要望あり	遊具下に保護マットを敷き、利用者の安全確保に努めた。
	・硬式野球場前の点字ブロックの補修要望有り	横断歩道付近の点字ブロック補修を実施し、安全確保に努めた。
	・硬式野球場 2 階コンコースのウォータークーラーの需要がない	衛生面からもウォータークーラーを撤去、流し台を設置し、利用者サービスの向上を図った。
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

→該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

→該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 上(下)半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>上・下半期含めて、震災の影響は大きかった。イベントの中止や節電による照明等の影響は、公園利用者の理解とともに推進出来たことと思われます。硬式野球場のナイター中止や園内の園路灯の間引き等、多くの利用者協力を得て1年間が終わったのではないかと思います。また、保土ヶ谷公園の冬場の名物風景として評判が高かった「イチョウのライトアップ&イルミネーション」はイチョウのライトアップだけは例年通り行い、新たな人気スポットとなり始めたイルミネーションは縮小化して実施し、なんとか継続性を保つことが出来ました。</p> <p>また、池・流れの整備工事が終わることから供用開始に際し、修景施設としての施設目的と公園利用者への利用指導も複雑になるとと思われます。規制表示や利用看板など、植栽整備進行にあわせ、横浜川崎治水事務所との協議を密接に進めることが必要と思われます。</p>
施設所管課	<p>利用者については、例年のない寒さや天候不順に加え、施設修繕工事による休館等による影響で11月～2月の閑散期については前年度比減であったが、10月のアートイベントや区民まつりを開催したこと、3月は前年度に大震災による利用自粛で減少した値が回復したこともあり、下半期全体では1.7%増でとなった。</p> <p>収入支出については、3月には園内各所の大規模な補修工事を行ったものの、簡易な修繕等は直営で行ったことや、植物管理を一部直営でおこなった努力により、支出を押さえることができたことは評価できる。</p> <p>苦情要望等に対する対応状況についても特に問題はない。</p>